

ドイツ「プリ・ジュネス2004」

NHK「ピタゴラスイッチ」が部門最優秀賞を受賞

ドイツ・ミュンヘンで開催された青少年向けテレビ番組の国際コンクール「プリ・ジュネス2004」で、19日(日本時間20日)NHKの「ピタゴラスイッチ」が、「6才までのノン・フィクション番組」部門で、最優秀賞を受賞しました。NHKの作品が「プリ・ジュネス」で最優秀賞を受賞したのは、1964年の第1回のコンクール以来、40年ぶり2度目です。

19日の授賞式では、番組7部門、ウェブ2部門のあわせて9部門の最優秀賞の発表が行われました。このうち、番組部門には、世界65の国と地域からのあわせて118の放送局から280作品の応募があり、このうち、「6才までのノン・フィクション番組」部門には、19作が出品されました。

「ピタゴラスイッチ」は、教育テレビで毎週水曜日午前10時30分から10時45分まで放送されています。

受賞番組について

最優秀賞(「6才までのノン・フィクション番組」部門)

「ピタゴラスイッチ ~25話 みかたをかえてみる~」

(英語タイトル PythagoraSwitch Edition 25: Let's Look at It Another Way)

2003年8月20日放送 15分

(内容)

「ピタゴラスイッチ」は、4~6歳児を対象に、さまざまな「考え方」や「ものの見方」があることを示して、多角的な判断力を育てていくことをねらいとした番組です。

受賞した第25作では、CGアニメーションを使うなどして、同じものでも見る位置を変えると見え方が違うことを示したり、また、家庭では、父親であっても、会社に行けば会社員、電車に乗れば乗客、病院へ行けば患者と呼ばれるようになるなど、立場や状況が変わると呼び名も変化することを、歌に乗せて紹介しています。

この番組は、昨年秋の教育番組国際コンクール「日本賞」で総務大臣賞(「子ども番組の部」最優秀番組)を受賞しています。

「プリ・ジュネス」とは

ドイツのバイエルン放送協会、ミュンヘン市、ZDF（第2ドイツテレビ）などが出資する「プリ・ジュネス財団」が、EBU（ヨーロッパ放送連合）とユネスコの支援を得て、隔年で開催するコンクールで、今年は創設から40周年にあたります。

このコンクールでは、審査員団が予選審査を行った後は、番組プロデューサーなどのコンクール参加者が、投票で、各部門の最優秀賞を選ぶ方法をとっており、この選考方式が「プリ・ジュネス」の大きな特徴になっています。

<参 考>

NHKの過去の受賞作品

1964年 最優秀賞（青少年番組部門）	「仲間が欲しい」
1968年 佳作（7～12オドラマと娯楽番組部門）	「黒姫ものがたり」
1972年 佳作（こども番組部門）	「ゆき」